

向こう3か月の天候の見通し

東北地方 5月～7月

仙台管区气象台

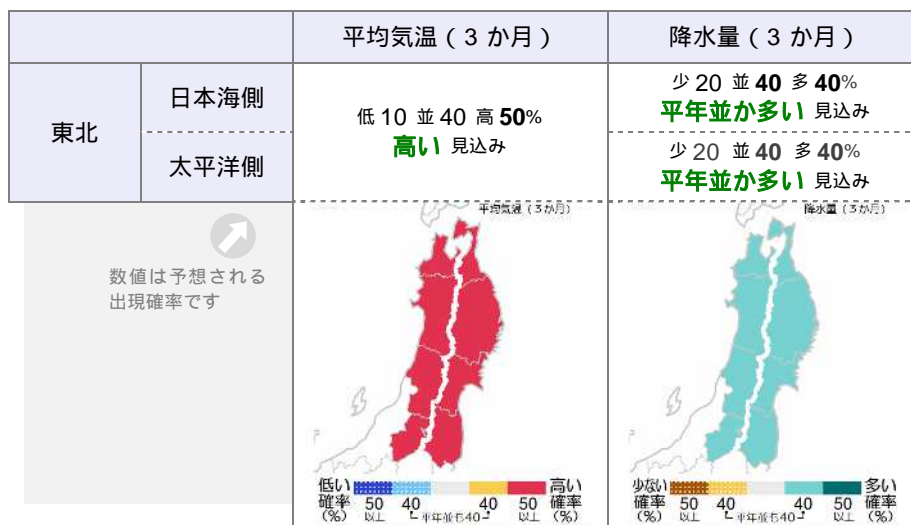
予報のポイント

- 向こう3か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。
- 湿った空気や前線の影響を受けやすい時期があるため、7月の降水量と、向こう3か月を通した降水量は平年並か多いでしょう。

暖候期予報の見直しについて

新しい予測資料を踏まえ暖候期の天候について検討しましたが、2月24日に発表した暖候期予報の夏（6～8月）の気温、降水量に変更はありません。梅雨の時期の降水量については、この3か月予報をご利用ください。

3か月の平均気温・降水量

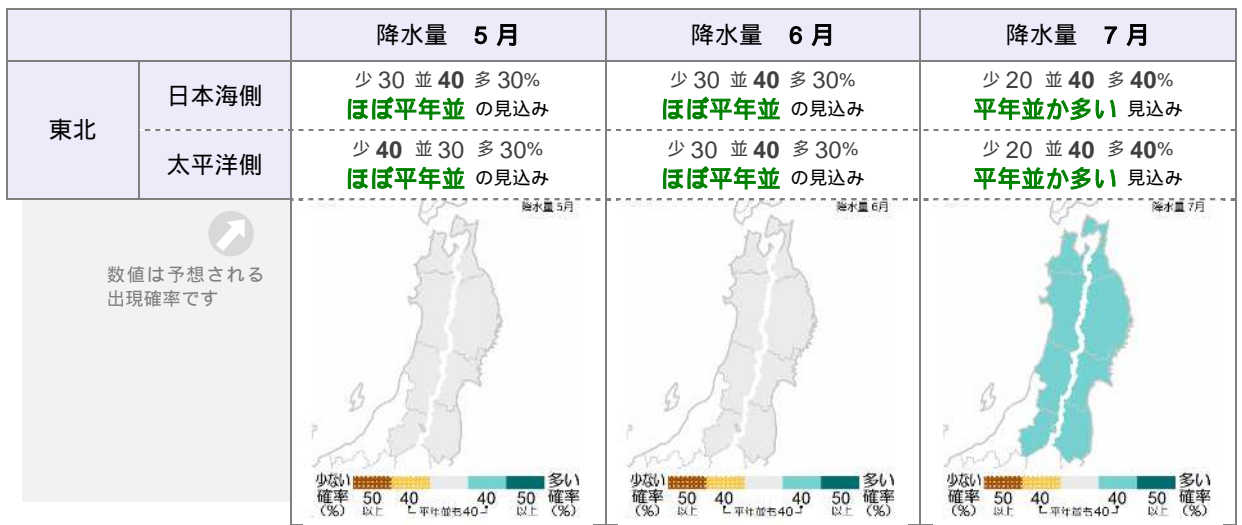
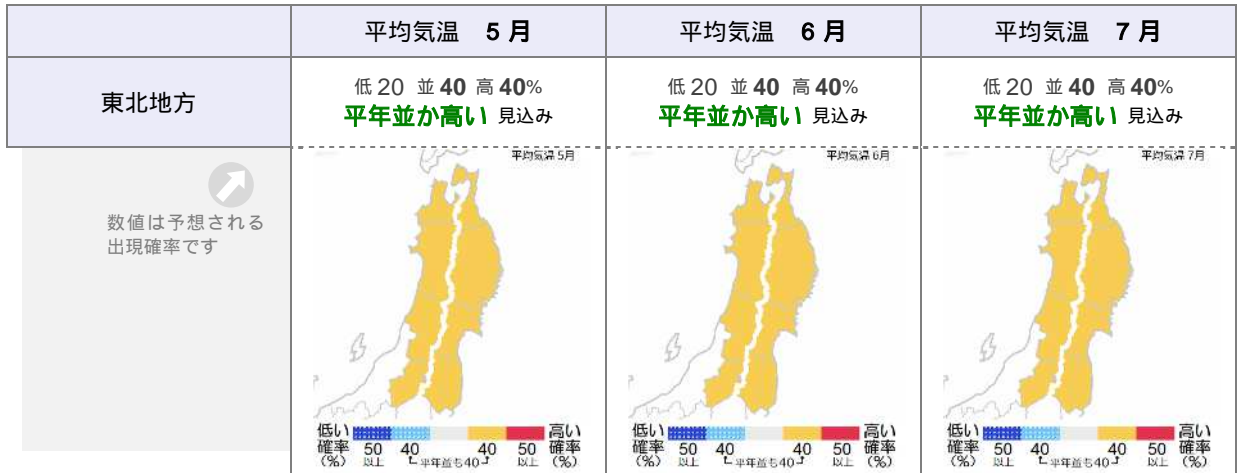


月別の天候

5月	6月	7月
<p>高気圧と低気圧が交互に通 り、天気は数日の周期で変わ るでしょう。 気温は平年並か高い見込み です。降水量はほぼ平年並で しょう。</p>	<p>期間の前半は、天気は数日 の周期で変わるでしょう。期 間の後半は、平年と同様に曇 りや雨の日が多い見込みで す。 気温は平年並か高いでしょ う。降水量はほぼ平年並の見 込みです。</p>	<p>平年に比べ曇りや雨の日が 多いでしょう。 気温は平年並か高い見込み です。降水量は平年並か多い でしょう。</p>

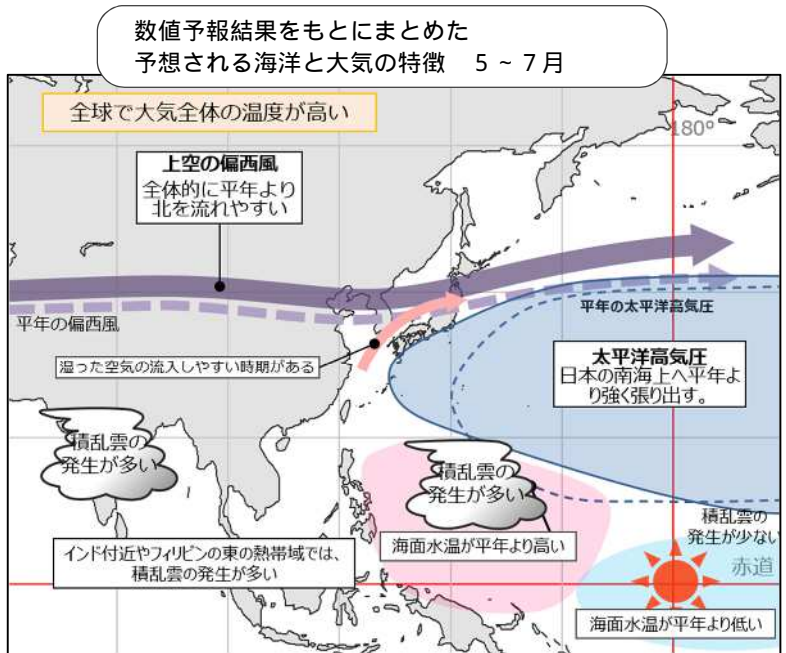
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量



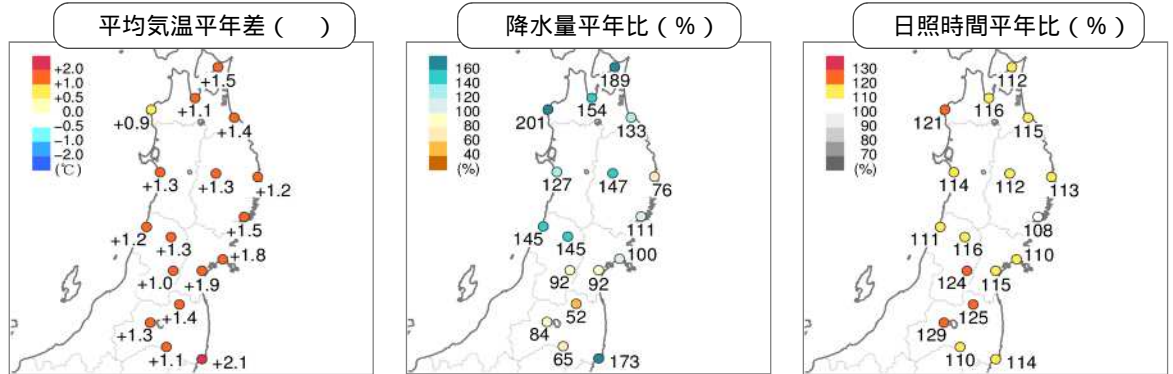
予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いくでしょう。
- 予報期間中は、太平洋の海面水温は西部熱帯域で高い一方、中部赤道域では低い見込みです。インド付近やフィリピン付近からフィリピンの東にかけては、積乱雲の発生が多いくでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風は、平年よりやや北を流れる見込みです。
- 太平洋高気圧は、日本の南海上への張り出しが強まるため、全国的に暖かい空気に覆われやすく、湿った空気が入りやすい時期がある見込みです。



今月の天候経過（実況） 4 / 1 ~ 20

この期間、低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化しました。高気圧に覆われやすかったため晴れた日が多くなり、日照時間は平年を上回りました。また、前線の通過に伴う大雨により降水量は平年を上回りました。上旬の後半と中旬の中頃は寒気が一時的に入り込みましたが、暖かい空気が流れ込みやすかったため気温は平年を上回りました。4 日は前線が通過したため、青森県と秋田県で大雨となった所がありました。9 日は気圧の谷や寒気の影響で東北北部から東北日本海側を中心に雨や雪となり、青森県と岩手県の山沿いで大雪となった所がありました。13 日から 14 日は寒冷前線が通過し、13 日は青森県と秋田県で、14 日は福島県で大雨となった所がありました。17 日から 18 日には低気圧の影響で、各県で大雨となった所がありました



(実況) 4/1 ~ 20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+1.4	123%	116%
東北日本海側	+1.2	135%	119%
東北太平洋側	+1.5	114%	113%
東北北部	+1.3	142%	114%
東北南部	+1.5	105%	117%

参考データ

平年並の範囲

	平均気温 3 か月	平均気温 5 月	平均気温 6 月	平均気温 7 月
東北地方	平年差：-0.3 ~ +0.4	平年差：-0.3 ~ +0.5	平年差：-0.6 ~ +0.5	平年差：-0.1 ~ +0.9
東北日本海側	平年差：-0.2 ~ +0.3	平年差：-0.1 ~ +0.4	平年差：-0.5 ~ +0.5	平年差：-0.3 ~ +0.9
東北太平洋側	平年差：-0.3 ~ +0.5	平年差：-0.4 ~ +0.6	平年差：-0.5 ~ +0.5	平年差：-0.4 ~ +0.8
秋田	18.8 ~ 19.3	14.4 ~ 14.8	18.8 ~ 19.5	22.4 ~ 23.7
仙台	18.2 ~ 18.9	14.7 ~ 15.4	18.0 ~ 19.1	21.6 ~ 23.1

	降水量 3 か月	降水量 5 月	降水量 6 月	降水量 7 月
東北地方	平年比：95 ~ 109%	平年比：86 ~ 117%	平年比：85 ~ 113%	平年比：87 ~ 114%
東北日本海側	平年比：94 ~ 108%	平年比：83 ~ 109%	平年比：77 ~ 110%	平年比：84 ~ 110%
東北太平洋側	平年比：95 ~ 104%	平年比：83 ~ 115%	平年比：90 ~ 110%	平年比：87 ~ 118%
秋田	367.1 ~ 460.2mm	103.1 ~ 126.0mm	84.8 ~ 118.0mm	131.8 ~ 219.0mm
仙台	387.6 ~ 462.2mm	94.1 ~ 122.7mm	125.6 ~ 155.7mm	119.1 ~ 237.5mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」、「平年並」、「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11 ~ 20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。

晴れ日数と降水日数の平年値

	5 月		6 月		7 月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
秋田	16.1 日	11.0 日	14.7 日	9.9 日	12.0 日	11.8 日
仙台	16.2 日	9.0 日	11.3 日	10.7 日	9.7 日	13.5 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が 50% 以上	高い（多い）見込み
（20 : 40 : 40）	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
（40 : 30 : 30）（30 : 40 : 30）（30 : 30 : 40）	ほぼ平年並の見込み
（40 : 40 : 20）	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50% 以上	低い（少ない）見込み